

令和5年度 基本方針（案）

1 事務局体制等の整備強化

(1) 県センターとしての機能強化

- ア 運営基盤の整備に努め、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画の理念に基づく様々な事業に対して、積極的に関与し指導者養成、スポーツ・レクリエーションの推進に努める。
- イ 日本協会の情報ネットワークシステムの活用を図り、事務の簡素化に努める。
- ウ 財政的に厳しい状況の中ではあるが、県民に対し県レク協会への理解を図り、公益事業と収益事業を明確にした運営を行う。
- エ 日本協会と連携を密にし、情報の収集、多方面の事業受託に努め、最新の情報や事業を加盟団体及び会員に提供する。
- オ スポーツ振興くじ toto、子どもゆめ基金、民間企業等の助成金を活用し事業の拡充に努める。
- カ 指導者支援や新規有資格者確保のため、講習会や研修会を可能な限り広範囲で開催する。（コミュニケーション・ワークセミナー、レク式体力チェック講習会、幼児の運動あそび指導者講習会、チャレンジ・スポーツ講習会等）

(2) 専門委員会の活動充実

- 各委員会の活動の充実と自立を図ることをねらいに、委員会組織の拡充や委員会活動の具体案を検討・作成する。
- 新規委員会として健康クラブ推進連絡会を設置し、新潟県内の健康クラブの推進ならびに若手指導者の養成に努め指導者のサイクル化を図る。

2 新潟県スポーツ・レクリエーション大会の開催

一般市民を対象とした公益性の高い市民参加型事業を展開する。各市レク・種目別協会と連携し全体計画はもとより、各加盟団体のスポーツ・レクリエーション活動にも工夫・改善を加えるよう実行委員会から提案する。

・第31回大会は、10月14日(土)・15日(日)胎内市、村上市で開催する。

3 指導者養成事業の開設

(1) レクリエーション・インストラクター養成講座の開設

日本協会の指導者養成新カリキュラムに沿って、各加盟団体の協力を得てスポーツ・レクリエーションスクールを開講する。本年度は、インストラクターの養成を中心に開催し指導者のサイクル化を図りたい。

4 スポーツ・レクリエーション普及振興事業の実施

(1) 他団体との連携・協力事業

ア 全国一斉「あそびの日」キャンペーン事業

指定された期間に開催されるキャンペーンに、加盟団体から積極的な参加が得られるよう呼びかける。

イ 子どもの体力向上推進事業

幼児の体力・運動能力向上に寄与する事業をゆめ基金や民間企業と連携して開催する。

福島県、柏崎市、丸山育英会との連携

ウ 新潟県レクリエーション協会考案・開発「レク式体力チェック」の普及・推進

レク式体力チェックは、toto の助成事業として県内はもとより全国へ向けても普及を目指してきた。スポーツ・レクリエーション指導者養成のカリキュラム（動機つけ）として位置づけられたこともあって、引き続き高齢者のレク式体力チェックと、幼児の運動（あそ

び) 能力チェックを中心に普及・推進する。また、新プログラムの充実に努めるとともに引き続きハンドブックの充実を図る。

エ 新潟県少年自然の家との連携を深める。(スクールの開催)

オ (公財)新潟市開発公社、グリーン産業(株)、各種企業・団体との連携を深める。

カ 県内外のスポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ関係団体との連携を推進する。

キ アタック・ファイブの全国展開を目指して、本年度開催の徳島大会で普及指導員養成講習会と大会を開催する。

5 受諾事業の実施

日本協会、県、市町村、学校、民間等からの各種依頼については、指導者の派遣、事業受諾など多様な方法で可能な限り対応する。

6 指導者派遣事業

- (1) 用具等を購入した団体等の要請に応じて、有資格者会員の協力を得ながら積極的に対応する。
また、要請団体へのサービスをねらいにホームページを活用した紹介ページの充実を図る。
- (2) 人材発掘と指導者の資質向上をねらいに、可能な限り新たな有資格者を派遣する。

7 広報・広聴活動の充実

- (1) 郵送費高騰の中、郵送費抑制を狙いに広報委員会報「レクにいがた」をHPにより紹介する。
併せてPC環境のない方には郵送にも対応する。
- (2) ホームページを最大に活用し、県レク情報を全国へ発信する。(リンクを希望する団体を募集中)

8 有資格者支援事業の実施

- (1) 日本協会からの資料情報等配布・提供をHPで行う。
- (2) フォローアップセミナーを充実させ、有資格者の支援と新規有資格者の確保に努める。

9 団体の育成及び組織強化

- (1) 地域協会の支援
退会する団体が続く市町村・種目別団体を支援し、レクリエーション活動の推進と強化を図り組織の拡大に努力する。
- (2) 県内の未加盟種目団体・領域団体に加盟を働きかけ組織の拡大に努める。
- (3) 「新潟県課程認定校連絡会」への支援・助成を行う。また、連絡会が主催する「学生交流集会」「研究集会」等へ助成する。
- (4) 新規課程認定校獲得のため、日本協会と連携する。
- (5) 県スポーツ・レクリエーション大会へ参加する団体に準備費を補助する。

10 新潟県新採用教員研修 会場；8/1・8/4 県立教育センター 柏崎市民プラザにて開催

11 ニュー・スポーツ(新種目)の考案、用具の開発と販売 普及活動

アタックファイブ(ストーン 的紙) 8面体サイコロ(イチロウくん・サイコロ・PKくん)

12 新潟県健康クラブ推進連絡会

本年度県内14カ所で健康ひろばを開設することに伴い、クラブ間の格差が出ないよう指導者スタッフの連携を密にする。

1 会 議

第1回理事会は、令和5年4月23日(日)；山潟会館(事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、31回記念大会、役員改選)

第2回は、令和6年3月24日(日)；未定(定例、事業計画・予算、その他)

その外、臨時理事会（必要に応じて開催）

通常総会は、5月21日(日)；山潟会館（事業報告・収支決算、事業計画・収支予算、第31回記念大会、役員報告）加盟団体事務局会議は、令和6年3月24日(日)；未定

2 事 業

	事業名	期 日	会 場	予定人数	内 容
1	第31回新潟県スポーツ・レクリエーション大会	10月14日(土)～ 10月15日(日)	新潟県 少年自然の家 神林体育館 胎内市体育館	2,000	市民参加型事業を通して、県民の健康づくりに貢献し、生涯スポーツの振興と地域レクリエーション運動の活性化に資する。
2	スポ・レクスクール	11月～	新潟県 少年自然の家 山潟会館	20	インストラクターの養成講座を開催し、レクリエーション運動の中核となる人材の育成を図る。
3	幼児・児童支援事業 丸山育英会	未定	未定	300	福島県の被災幼児へ運動能力チェック・運動あそびを継続的に提供し、そのデータを提供保存する。
4	ゆめ基金	10月29日(日)	柏崎市	100	ゆめ夢基金を活用して実施する。
5	フォローアップセミナー	コミュニケーション・ワーク 各種スポーツ・レクリエーション 幼児運動	新潟市 胎内市 上越市 他	各30人	現実的な課題解決のため講演会・講習会を開催し、指導者を支援する中でサイクル化を図る。
6	課程認定校交流集会	未定	未定		課程認定校学生が一同に会し、各学校の特色を活かしたレク活動と研修を行い交流を深める。
7	加盟団体事務局会議	3月24日(日)	新潟市	40	日本協会の各種情報を伝達するとともに、お互いの情報交換を通して連携強化を図る。
9	クッパ アタック・ファイブ ベースボール等 各種大会	別紙資料	新潟市 新潟市 胎内市	各30人	冬の新潟を前面に出して、日本海側初の全国大会を定着させたい。また、アタック・ファイブも人気種目として定着しつつある新種目 サイロキック ベースボール ピン・アタック
10	受託事業	別紙資料	別紙		